



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第133号 2013年4月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成25年3月28日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

健康・安心・エコ

健康・安心・エコをテーマとした展示会が開催されます。システムキッチンやシステムバスなどの住宅設備機器メーカーTakara standardが主催する「横須賀タカラフェア2013」です。

システムキッチンの新製品「エマージュ」をはじめ、魅力的な製品を実際に「見て」「触れて」「体験できる」タカラフェアに是非ご来場ください。

後日、魅力ある新商品をこの「すまい造りメール」でご案内させていただきます。

健康・安心・エコリフォーム相談会 横須賀タカラフェア2013

2013年4月20日(土) 10:00~17:00
横須賀商工会議所
横須賀市平成町2-14-4



平成24年のリフォーム工事以来、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、すまい造りメール第132号でご紹介した節水型便器で、温水洗浄便座とセットになったアラウーノV-Limited（定価の40%OFF）を設置したトイレの改造工事です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

既存の床と壁をフローリングとクロスに貼りかえました。

「いままでと比べて少ない量で、静かに流れていくかんじです。スペースも広くなりました。」というご感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォアー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

地元生産・地元消費

よこすかの畑や海でとれた新鮮な農水産物を地元の人たちを中心に食べるといった施設が3月13日にOPENしました。横須賀港に面した新港町に完成した「よこすかポートマーケット」は、地元の大根、キャベツ、たまねぎ、葉山牛、まぐろ、しらす、ジェラートなどが揃う地場産物総合販売所です。併設されたレストランでは、好きなものを好きなだけ自分で選べる量り売りもあります。よこすかのおいしいものが大集合です。地元の人たちを中心に日常的に使うことができる施設です。



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next50
創刊 2002.4.1.

ざっくばらん 雑句芭欄

そんなとくか
人間のものさし
うそか
まことか
佛さまの
ものさし

みつを

2013年は、2012年に引き続き、相田みつを氏の詩を取り上げます。書の道で迷い苦しむ日々の中で、仏像との対話から生まれた言葉の数々を集めた「かんのん讃歌」を中心にお届けします。



(相田みつを「かんのん讃歌」より抜粋)

クイズ 問呷只和

勝手に MEWLAND検定

2013年は三方を海に囲まれた自然豊かな三浦半島(MEWLAND)に関する問題を20問設問します。成績優秀者にはMEWLAND検定合格者として勝手に認定します。

(答えは裏面に記載しています。)

(問題7) 三浦半島では、映画やドラマの撮影場所誘致や撮影支援をして、地域活性化、文化振興、観光振興を図るフィルム・コミッションが活躍しています。次のうち、三浦半島で撮影されていない作品はどれか？

- (ア)テルマエ・ロマエ
- (イ)泣くな、はらちゃん
- (ウ)あの夏、いちばん静かな海。
- (エ)BECK



主な特長

- ①3Dツイスター水流 (小3.0L/大4.6L)
- ②優れた撥水性を持つ新素材(有機ガラス系)
- ③従来と比較してコンパクトサイズ

トイレは、住まいの中で一番狭い空間であるにもかかわらず、家族の皆様が毎日使用する共用スペースです。誰もが安全で快適に使用できるように心がけたいものです。

「追浜の歴史はすごいよ！」③（全三話）

昨年「追浜の歴史探訪」を出版された前横須賀市追浜行政センター館長で、現在は神奈川新聞社が主催する「青木塾」で塾長として活躍されている青木猛氏に追浜の町の変遷についてお話を伺いました。（最終話）
太平洋戦争が終わり、追浜の旧海軍施設が解放され変化が現れた。1946年(昭和21年)戦時特設託児所が廃止され市立保育園が開設された。同年に追浜駅裏の元海軍航空技術廠技術将校の高等官宿舍跡が湘南国際病院として開院した。今も駅裏に門柱と宿舎に続いた塀が残っている。

また、旧海軍航空隊跡地に進出した富士自動車(株)は、国の経済統制政策により混乱期の1947年(昭和22年)に占領軍自動車の修理、解体、再生事業を開設した。その後、日産自動車の指定工場となり、短期間に大きな会社に拡大していった。

旧海軍飛行場や軍施設の埋立て地は、45万坪の74%（約33万坪）がこの地方公共団体にも属さない所属未定地であったようだ。横須賀市発行の境界問題解決への記録書「野島と夏島」には、横浜と横須賀の両市が米陸軍特需会社富士自動車に市民税を二重課税し土地帰属の境界紛争となったとも書かれている。



旧追浜飛行場に並び米軍の各種車両群

元々、古くは野島周辺を武蔵国久良岐群野島浦、夏島周辺を相模国三浦郡浦之郷村と言った。1889年(明治22年)に市制・町村制が施行され、野島浦は金沢村に、浦之郷村も浦郷村となった。やがて浦郷村は田浦町に改称され、1933年(昭和8年)に横須賀市に合併された。その背景には、旧海軍施設のある田浦町の行政区域を横須賀市に統合し、埋め立てや軍道整備等の法的手続きの不便さを解消するための様である。

この行政境界紛争は、1952年(昭和27年)に暫定措置が取られたが本来の解決にならなかった。その後1959年(昭和34年)に、神奈川県知事から現状の埋立て地は地理的、経済的、水利、交通等が横須賀市と一体の様相であること、横須賀市は旧軍港市転換法による企業誘致が進めていること、駐留軍関係離職者対策の社会問題等の解決を見出すことから、斡旋案が出され協定で横須賀市の帰属となった。

当時の記録写真では、飛行場の隅から隅まで南方戦線から運ばれた軍用トラックやジープで埋まり、朝鮮戦争時代にアメリカと韓国の両国将校が工場視察している貴重な物もあり、飛行場跡とは思えない。今では歴史的な経緯も薄れ、進出した追浜工業会の各企業が横須賀市の経済を支えている。（完）

（神奈川新聞社主催「青木塾」塾長 青木猛）

勝手にMEWLAND検定の答え（問題7）(ア)

山手西洋館見学ツアー「百聞は一見に如かず」

皆様の「快適な暮らし」のサポートとなることを目的としてスタートしました「すまい造り工房」は、今回で17回目を迎えます。今回は、外国人居留地の面影を残す横浜の山手西洋館の周辺を散策しながら、時を重ねても色あせないデザイン、それらを後世に伝えようという取り組み、はたして、「快適な暮らし」とはいったい何かということについて、ご一緒に考えたいと思います。お忙しいことは存じますが、異国情緒が漂う街並みや山手西洋館にご興味をお持ちの方は、是非ご参加ください。

皆様の「快適な暮らし」のサポートができましたら幸いです。



山手111番館

第17回 すまい造り工房 「百聞は一見に如かず」

日時 平成25年5月25日(土) 13:00～16:00
定員 15名（先着順で定員になり次第締め切ります）
会費 500円（資料代として）

見学コース（予定）

ベリックホール→エリスマン邸→山手234番館
→山手111番館→横浜市イギリス館 ほか
※2時間くらい歩きますので、歩きやすい服装でご参加ください

解説

関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科
水沼淑子教授

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2013」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索